

Utsunomiya University. Syllabus (2012年度)

授業科目名	国際キャリア実習Ⅱ				
	International Internship II				
開講時期	通年	曜日・時限	不定時	時間割コード	K999993
開講学部等	国際学部	科目等履修生の受入		受入不可	
科目区分	専門教育科目	単位数	2	授業形態	実習
担当教員名	*友松 篤信、渡邊直樹				
電話番号	028-649-5193 028-649-5195	電子メール	atomo@cc.utsunomiya-u.ac.jp naokiw@cc.utsunomiya-u.ac.jp		
オフィスアワー	友松研究室:月曜日14:30-16:00、渡邊研究室:月曜日13:00-14:00、他の時間帯はメールで予約				

【授業の内容】

国際ビジネスや国際協力、国際交流活動・観光業などで活躍することを目指して、国内の企業・NGO・公的機関・地方自治体、国際機関などでインターンとして実習経験を積み、実務能力を高めます。インターン後はレポート提出を課します。

【授業の到達目標】

英語などの外国語を用いて現場体験あるいは実習経験を積み、実務能力、企画力とコミュニケーション能力を高めます。さらに、自分の関心分野や専門性をより明確にします。

【学習・教育目標との関連】

国際的な視野を持った人材の養成に不可欠な仕事の知識を、現場の体験を通じて外国語で身につける。

【前提とする知識、関連する科目等】

国際協力や国際交流、国際ビジネスなどに関心を持ち、海外で実地体験したいと考えていること。「国際キャリア開発基礎」(国際キャリア合宿セミナー)を受講しており、「国際キャリア開発特論」「国際実務英語I」「国際実務英語II」を受講しておくことが望ましく、また海外経験があれば、高い学習効果が期待できます。

【授業の具体的な進め方】

国際NGOや市民団体、公的機関、栃木県内企業の海外事業所などをインターン先として、業務補佐などの実務を経験します。場合により、担当者と相談しながら自分の関心分野に合った実習のプログラムもつくれます。H23年度夏、H24年度春の長期休暇中、また休学中の一定期間(最低80時間)を実習時間とし、希望の分野や機関に合わせて派遣します。事前指導を行い、インターンシップ終了後には、実習報告書を提出します。また、必要に応じて、事前研修を行います。

【授業計画】

1. 興味関心分野と受け入れ先機関とのマッチング
2. インターンシップに向けたオリエンテ

ーション 3. インターン実習

4. 実習報告書提出

【教科書・参考書・教材等】

実習開始前に受け入れ機関や関連分野に関する資料を提示します。

【成績評価】

レポート50% 受け入れ先の評価50%

【学習上の助言】

「百聞は一見にしかず」と言いますが、「百見は一触にしかず」です。実習を通して実務と理論の間のギャップを埋めてみませんか。海外実習で、就職を乗り切る自信がつきます。

(最終更新日時:2012年02月10日 18時07分)

閉じる